

1 1. 胃がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率

算式

【分子】

分母対象例のうち、当該入院期間中に「K655-22腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術」、「K655-52腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術」又は「K657-22腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術」を施行した患者数

【分母】

測定期間内の退院患者のうち「胃がん」を主病名として入院し、「K6552胃切除術 悪性腫瘍手術」、「K655-22腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術」、「K655-42噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術」、「K655-52腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術」、「K6572胃全摘術 悪性腫瘍手術」又は「K657-22腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術」を施行した退院患者数

定義

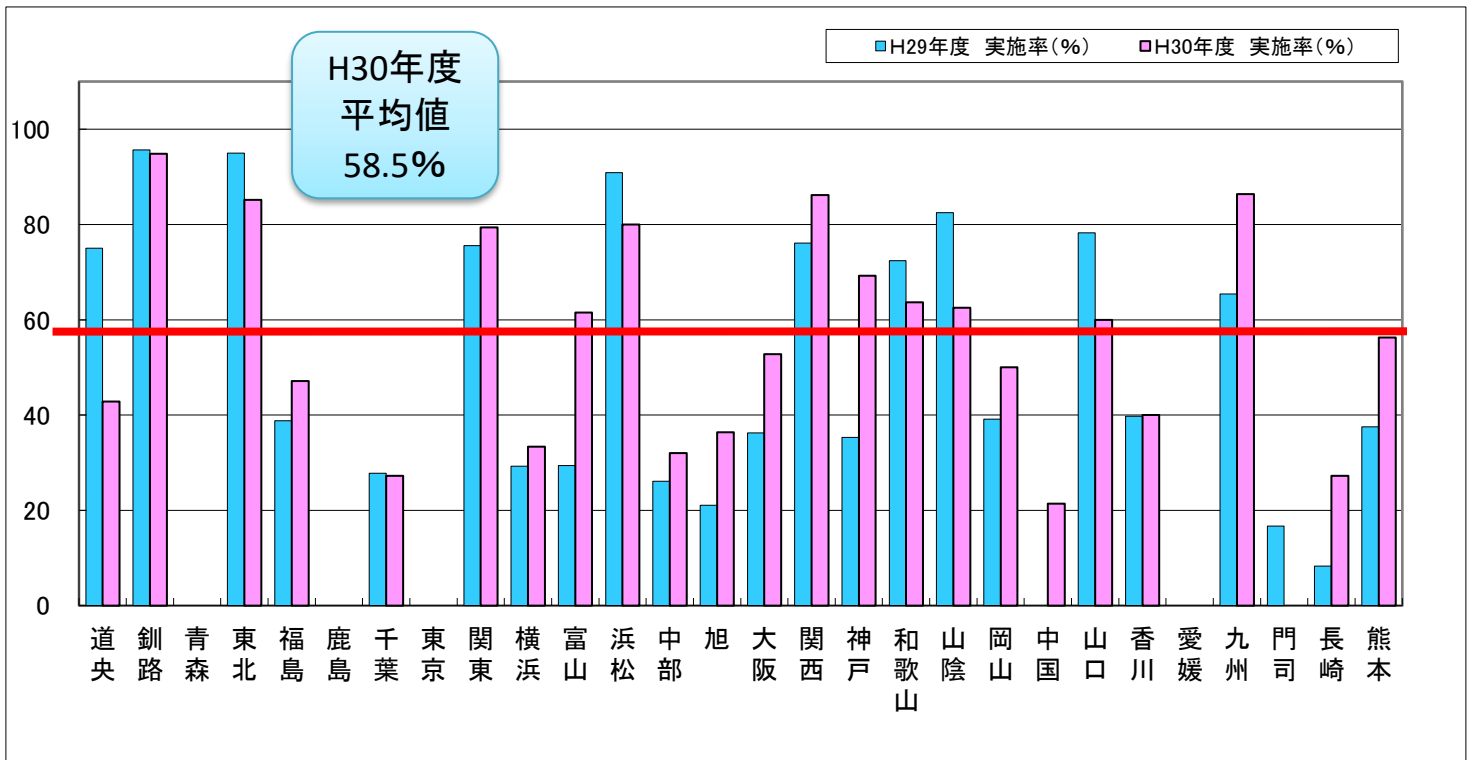
「胃がん」を主病名として入院し、悪性腫瘍手術を実施した患者のうち腹腔鏡下での手術実施割合

指標の解説

DPCデータより抽出

腹腔鏡下手術の有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、腸管運動の早期回復、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施率により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

1.1. 胃がん患者に対する腹腔鏡下手術の実施率



No	施設名	H29年度			H30年度		
		分母	分子	実施率 (%)	分母	分子	実施率 (%)
1	道 央	12	9	75.0	7	3	42.9
2	釧 路	23	22	95.7	39	37	94.9
3	青 森	17	0	0.0	13	0	0.0
4	東 北	40	38	95.0	54	46	85.2
5	福 島	67	26	38.8	70	33	47.1
6	鹿 島	2	0	0.0	0	0	-
7	千 葉	54	15	27.8	44	12	27.3
8	東 京	12	0	0.0	15	0	0.0
9	関 東	45	34	75.6	34	27	79.4
10	横 浜	41	12	29.3	36	12	33.3
11	富 山	17	5	29.4	13	8	61.5
12	浜 松	11	10	90.9	15	12	80.0
13	中 部	23	6	26.1	25	8	32.0
14	旭	19	4	21.1	11	4	36.4
15	大 阪	91	33	36.3	72	38	52.8
16	関 西	92	70	76.1	94	81	86.2
17	神 戸	17	6	35.3	13	9	69.2
18	和 歌 山	29	21	72.4	33	21	63.6
19	山 陰	40	33	82.5	32	20	62.5
20	岡 山	23	9	39.1	14	7	50.0
21	中 国	16	0	0.0	14	3	21.4
22	山 口	23	18	78.3	25	15	60.0
23	香 川	73	29	39.7	45	18	40.0
24	愛 媛	3	0	0.0	0	0	-
25	九 州	26	17	65.4	44	38	86.4
26	門 司	6	1	16.7	4	0	0.0
27	長 崎	12	1	8.3	11	3	27.3
28	熊 本	16	6	37.5	16	9	56.3
合 計		850	425	50.0	793	464	58.5
平均	500床以上	55	32	56.4	53	35	61.5
	400床以上	28	12	39.7	29	18	49.8
	300床以上	28	13	45.7	26	13	49.9
	300床未満	8	3	22.5	4	1	26.4

※対象症例が複数ない施設については除外した。